


(端午の節句行事食カード)

新緑の季節となりました。風薫る五月、お天気にも恵まれて過ごしやすい季節のはずが一気に暑さが厳しくなり、海に近い有明も強い日差しとなっています。

ボランティア支援室では、今年も5月5日に合わせて栄養管理部が提供する行事食と一緒に、端午の節句の行事食カードを入院中の患者さんに差し上げました。今回の行事食カードは、職員から寄贈された千代紙や和柄の折り紙を活用して鯉のぼりを折ってカードに貼り付けたもので、裏面には端午の節句の由来や行事食の説明書きを記して、お食事をしながら患者さんに季節感を味わっていただきたいとボランティアわかば、職員のボランティアメンバー共同で作成しました。

端午の節句は、男の子の健やかな成長を願う行事とされていますが、鯉のぼりは江戸時代に生まれ、鯉は生命力が強く「滝を登って竜になり天に登る」という中国の伝説に因んでいるそうです。行事食は「柏餅」、柏の葉は新芽が出ないと古い葉が落ちないため、家系が絶えないと縁起ものとして使われているようで、栄養管理部が提供した常食のお食事でも柏餅が提供されました。

例年、この時期は1階のホスピタルストリートに五月人形や鯉のぼりを飾付して、患者さんやご家族に季節飾りをお楽しみいただいておりますが、病院の改修工事の都合で飾付ができず、飾付はお休みをいただいております。来院された方から『今年は鯉のぼりが飾られていなくて残念です』というお声をいただき、大変心苦しく思っておりますが、また季節の飾付を再開できる日を楽しみにお待ちしております。



(端午の節句行事食:常食 A)



(端午の節句行事食:常食 B)